

---

# 令和7年度 事業報告書

令和8年4月26日

一般社団法人 CARNIVAL WORKS



## 概要

**ただ、オモシロイ未来をみんなで創る。**

**Create an interesting future**

たくさんの笑顔で人と人が繋がりたい、

ワクワクする冒険心を掻き立てるような

様々なプロジェクトに私たちは取り組んでいます。

ひとりひとりの心躍るストーリーは世界を変えると信じて。



## 令和7年度事業概要

- (1) 無料塾 FOUR'S STUDIO
- (2) 子ども食堂 KIDS HOME KOORI
- (3) 食と対話で支えるひとり親家庭サポートプログラム
- (4) CHAPTER ONE! (立ち直り支援)・・・新規プロジェクト
- (5) チャリティカフェ anneau cafe
- (6) GLAMQUET KOORI
- (7) CARNIVAL BAZAAR
- (8) BATON PROJECT・・・新規プロジェクト
- (9) ピエロ書房 (Pierrot Books)・・・新規プロジェクト
- (10) 学生ローカルデザイン研究所～まちをあそびつくす!～  
・・・新規プロジェクト
- (11) NODA COFFEE (高校生カフェ)・・・新規プロジェクト
- (12) ばあばとじいじのごはん処・・・新規プロジェクト
- ・・・以下は令和7年度活動実績なし・・・
- (13) DRY FLOWER PROJECT
- (14) LAMPE DU CHOCOLAT
- (15) BROWN SUNDAY



## (1) 無料塾 FOUR'S STUDIO

## (2) KIDS HOME KOORI

【目的】ひとり親家庭を含め様々なご家庭を対象に、教育格差をなくし、楽しみながら子どもたちが学ぶことを目的とする子ども食堂の要素も取り入れ、食べること、学ぶこと、そして保護者同士の連携など多様なつながりを提供する。

### 【事業実績】

開催日	開催場所	参加人数（名）			ボランティア			
		大人	子ども	合計	高校生	大学生	社会人	合計
4月8日	無料塾 FOUR'S STUDIO	10	22	32	8	9	3	20
5月2日	KIDS HOME KOORI	8	15	23	7	10	2	19
5月28日	無料塾 FOUR'S STUDIO	12	26	38	11	22	3	36
6月23日	無料塾 FOUR'S STUDIO	11	30	41	7	14	3	24
6月24日	KIDS HOME KOORI	10	18	28	5	11	2	18
7月29日	KIDS HOME KOORI	10	25	35	5	5	0	10
7月30日	ドトールコーヒー1日店長	13	24	37	0	2	10	12
7月30日	母子生活支援施設学習支援	0	1	1	1	1	1	3
7月31日	無料塾 FOUR'S STUDIO	11	25	36	13	15	5	33
8月5日	母子生活支援施設学習支援	0	1	1	2	1	1	4
8月6日	無料塾 FOUR'S STUDIO	9	26	35	4	6	2	12



8月8日	母子生活支援施設遠足	9	15	24	8	15	3	26
8月9日	母子生活支援施設夏祭り	18	30	48	4	8	4	16
8月18日	HIRANAGACOFF ラテアート	7	9	16	0	0	2	2
8月18日	無料塾 FOUR'S STUDIO	11	25	36	10	15	3	28
8月23日	こむこむ水族館ワークショップ	30	84	114	2	6	0	8
8月24日	こむこむ水族館ワークショップ	30	96	126	1	7	0	8
9月2日	KIDSHOMEKOORI	12	20	32	5	12	2	19
10月2日	無料塾 FOUR'S STUDIO	9	17	26	3	10	4	17
10月28日	KIDS HOME KOORI	10	25	35	2	10	3	15
11月22日	東北学院大学熊沢ゼミ芋煮食堂	18	35	53	2	15	4	21
12月17日	無料塾 FOUR'S STUDIO	7	20	27	10	12	7	29
12月28日	KIDS HOME KOORI	12	26	38	4	7	3	14
1月13日	無料塾 FOUR'S STUDIO	8	18	26	6	8	3	17
2月24日	無料塾 FOUR'S STUDIO	3	7	10	7	12	3	22
3月3日	KIDS HOME KOORI	10	25	35	3	5	2	10
3月12日	無料塾 FOUR'S STUDIO	5	12	17	7	13	2	22
		293	677	970	137	251	77	443

～無料塾・子ども食堂動画～





福島市ではスーパーマーケットと連携した無料塾の活動を中心に行い、桑折町では飲食店と連携した形の子ども食堂を1年間通してしっかり実施することができ、支援の入り口の機能を丁寧に果たすことができた。特に桑折町では子ども食堂がまだ二箇所（当法人と桑折町社会福祉協議会にて実施）であり、今後は子ども食堂や子どもの居場所づくりの立ち上げ支援やノウハウ提供も行っていきたい。また、母子生活支援施設においては、アウトリーチ型の学習支援や体験格差の是正（施設の親子を対象に遠足や夏祭りを実施）にも取り組むことができた。

#### 【連携企業】

- FOUR'S MARKET（運営協力）
- 株式会社いちい（運営協力）
- 割烹仙台屋（運営協力）
- 桑折町社会福祉協議会（運営協力）
- 一般財団法人ふくしま未来研究会（広告協賛）
- 一般社団法人福島馬主協会（ご寄付）
- 福島大学・福島学院大学・桜の聖母短期大学・福島高校・福島成蹊高校等  
（ボランティア・授業連携・探究活動）



### (3) 食と対話で支えるひとり親家庭サポートプログラム

#### 【目的】

ひとり親家庭を中心に毎月1回程度の食の支援とSNSなども活用した相談支援や実際の相談の場を設け、一層見えにくくなっている孤立を防ぎ、SOSを拾える地域づくりを行なう。

#### 【事業実績】

月	人数(名)		
	大人	子ども	合計
4月	11	19	30
5月	4	11	15
6月	15	23	38
7月	12	20	32
8月	10	19	29
9月	9	15	24
11月	10	17	27
12月	28	50	78
2月	16	31	47
3月	10	24	34
合計	125	229	354

目標としている数値には届かなかったが、長年ひとり親家庭の支援をしてきたことで、行政・支援機関・児童養護施設等含め様々な連携機関から緊急支援の依頼や相談が届くようになってきたことは大きな成果だ



と言える。今後もひとり親家庭の SOS を丁寧に拾い、孤立をまち全体で予防する活動を実施していきたい。

【連携企業】

- テレビユー福島
- 母子生活支援施設（相談連携）
- 特定非営利活動法人ビーンズふくしま（福祉連携）
- 福島市子ども食堂 NET（福祉連携）
- PALSYSYSTEM（物資提供）



## (4) CHAPTER ONE! (新規プロジェクト)

### 【目的】

非行や罪を犯した青少年そして、生きづらさを抱える人の立ち直りを支えるプロジェクト。更生保護を特別なこととして捉えるのではなく、生きづらさや様々な背景を抱えた青少年の新たなスタートをまち全体で応援できる仕組みを構築していきたい。地域住民、学生、企業、行政機関、学校関係者など、地域社会全体を「支える側」として巻き込むことを目指しながら、更生保護に直接関わる支援者だけでなく、間接的に貢献できる人々も重要な担い手として位置づけ、それぞれの「第1章」を応援できる支援体制を目指していきます。

### 【事業実績】

#### ① ふくしま H@ (はあと) ねっと共生展

日時：令和7年11月15日(土)10時～15時

場所：福島駅東口駅前広場

来場者数：1,200名

学生たちによるクイズやポッチャなどのニュースポーツを通して、犯罪や非行はもちろん、障がいのことや保護猫のことまで多くの社会課題を啓発し感じる機会となった。駅前での開催ということもあり、来場者



は1,200名を超え（概算値）、普段触れることの無い社会課題を多くの人が身近に感じ、自分事として関心を寄せる姿が数多く見受けられた。

～ふくしま H@（はあと）ねっと共生展動画～



## ② わらじまつりでの更生保護啓発活動

日時：令和7年8月2日(土)開催

49名参加（福島大学・福島学院大学・NPO法人ビーンズふくしま・B型作業所まちなか夢工房・Heart Beat 相談支援事業所・福島刑務所・福島保護観察所等）

大学生がワークショップを通して考えたデザイン（ほごちゃん・社



会を明るくする運動の QR コード記載等) を就労継続支援 B 型事業所にて T シヤツ製作等、本啓発活動を通じて各団体が連携しながらわらじ祭りに 49 名で参加。生きづらさを抱える人たちを支えるネットワーク構築に寄与することができた。



### ③ 立ち直り相談件数

のべ 21 件 (内容 : 生活・就職・家族関係)

【ボランティア活動 職場体験】

28 回 のべ 58 名 (職場体験同行・ボランティア活動従事)

【連携企業】

- 福島刑務所 ■ 福島刑務支所 ■ 福島保護観察所 ■ 福島大学高橋ゼミ
- 福島大学 BBS 会 ■ 福島県立医科大学作業療法学科 ■ おそうじ本舗
- 自立援助ホーム NEXT 小法師 ■ NPO 法人共生社会ふくしま



## (5) チャリティカフェ anneau cafe

【目的】子どもたちの社会課題を提起し、地域と共に考え、寄付（チャリティ）という形で全員参加型のまちを生みだす。1杯のコーヒーを通して、福島に寄付文化を根付かせ、社会課題を解決する仕組みを創出していく。

### 【事業実績】

開催日	場所	内容	参加者
8/20-8/26	うすい百貨店	子どもと一緒にふくしまからSDGsを考えるイベント。anneau café パネル展示実施	2,000
10/13-10/14	福島ガス	チャリティカフェ anneau cafe	3,000

～anneau café 動画～



anneau café は、高校生や大学生が主体となり運営するチャリティカフェであり、「一杯のコーヒー」を媒介に社会課題と人々をつな



ぐ点に大きな意義があった。コーヒーの売上は子ども食堂や無料塾などに寄付され、教育格差や貧困といった問題の解決に直接的に寄与することもできました。また、この活動は単なるチャリティ活動にとどまらず、来店者がコーヒーを購入することで自然に社会課題に関わる「参加型の仕組み」を生み出している点が特徴であり、日常的な消費行動を通じて社会問題への理解を広げながら支援の裾野を拡大している。





【連携企業】

- 株式会社いちい（運営協力） ■ せいざん（販売・指導） ■ 福島ガス（販売） ■ 柏高島屋 ■ うすい百貨店 ■ 女子の暮らし研究所



## (6) GLAMQUET KOORI

## (7) CARNIVAL BAZAAR

### 【目的】

桑折町のグランピング施設の運営管理・施設維持を行うと同時に、子ども達向けの多種多様なイベントなどを企業・学生・地域を巻き込みながら実施。本施設を中心に、学生が戻ってくる町、子育てしやすい町づくりを地域全体で行っていく。またスタッフには多様性（ひとり親家庭等）のある雇用を行い、様々な背景を持つ人が個性を生かしながら全員が輝ける社会を生み出していく。

### 【事業実績】

株式会社いちい、グランケット桑折と連携し、グランピング施設の運営を通じて、ひとり親家庭や様々な背景を持った人の雇用を継続して創出することができている。桑折町でのグランピング施設でマルシェや子ども食堂や子ども体験イベント等様々なまちづくり施策を掛け合わせながら、今後も子育て世代の雇用をしっかりと創出していきたい。



## (8) BATON PROJECT (新規プロジェクト)

### 【目的】

大切な思い出の詰まった洋服やおもちゃを持ち寄り、次の持ち主へ“バトン”をつなぐ循環型の取り組みです。プロジェクトが目指すのは「世界をたくさんのストーリーで満たすこと」。人から人へと想いを受け継ぐ仕組みを通じて、単なるリユースにとどまらない、温かくサステナブルなコミュニティを築いていきます。物品販売による売上は子ども食堂などへのチャリティに活用され、地域の子どもたちの食事や居場所を支える活動にも貢献しています。

### 【事業実績】

#### ① 古着リサイクルチャリティイベント

日時：2025年9月6日（土）～9月7日（日）

場所：エスパル福島 2階センタースペース

来場者数：500名

チャリティ総額：32,489円

こちらはすべて子ども食堂へのチャリティとして食材を購入の上、福島市子ども食堂 NET を通じて市内の子ども食堂へお届けいたしました。





## ②廃材アートワークショップ

【日時】 2026年1月4日(日)10時~13時

【場所】 エスパル福島 5階ネクストホール

【参加人数】 子ども 18名 大人 9名 学生ボランティア 8名



【連携企業】

■ エスパル福島



## (9) ピエロ書房 (新規プロジェクト)

### 【目的】

「ピエロ書房」は、街角を巡る売らない本屋。学生たちが店員・デザイナー・語り手となり、本が持つ物語の魅力を届けています。人と物語が出会い、価値や想いが交差する小さなサーカスのような空間を演出。ページをめくるたびに生まれる一瞬一瞬の感動を大切にしながら、ピエロ書房は今日も新たな場所へと向かいます。学生の主体的な関わりを通して、地域に新しい出会いと感動をもたらす取り組みです。

### 【事業実績】

#### ① 第1回ピエロ書房

日時：2025年11月15日(土)

場所：福島駅東口駅前広場

来場者数：1,200名



## ② 第2回ピエロ書房

日時：2026年3月29日(日)

場所：四季の里

来場者数：5,000名



ピエロ書房は学生主体で運営されており、店員・デザイナー・企画者として運営全般に関わることで、社会に価値を届ける経験を得ると同時に、子どもを支える次世代の担い手としての主体性や表現力を育む機会となっている。

また、売らない本屋という形式は、消費を目的としない新しい文化的体験を提示し、訪れた人々に「物語の価値」や「つながりの大切さ」を感じてもらおう場となった。人と物語、そして人同士の想いが交差する場



を生み出すことで、孤立しがちな現代社会において緩やかなつながりを生み出す役割も果たすことができた。こうした出会いと感動の循環を地域に広げ、誰もが心を動かされる体験を共有できる場を増やしていくことにより、笑顔と関係性が連鎖する持続可能な地域づくりにますます貢献していきたい。

～ピエロ書房動画～



【連携企業】

■ 西澤書店



## (10) 学生ローカルデザイン研究所

### ～まちをあそびつくす！～（新規プロジェクト）

#### 【目的】

学生ローカルデザイン研究所は、「まちをあそびつくす！」を合言葉に、学生が主役となって地域と関わりながら、まちの新しい楽しみ方を見つけていくプロジェクトです。いつもの通りや公園、空き店舗など身近な場所を舞台に、イベントや企画などを通して、まちとの関わり方を少しずつ広げていきます。

「一緒に楽しむ」ことから始まり、人と人、まちと人がゆるやかにつながっていく場を生み出します。学生ならではの自由な発想と行動力を活かし、地域の人たちや行政とも関わりながら、まちを自分ごととして楽しめるつながりを育てていきます。こうした実践を通して生まれる気づきやアイデアを大切にしながら、新しいまちのあり方を探っていきたいと思います。

#### 【事業実績】

##### ① 福島県中小企業家同友会パネルディスカッション

日時：令和7年7月14日

概要：中小企業魅力発信月間イベント「若者の声から見えてくる福島の“しごと”と“まち”の魅力」トークセッションへ学生が登壇。企業や地域の人とこれからのまちについて語り合う時間を演出。若者の率直な



視点は企業側にも新たな気づき生まれる貴重な時間となった。



## ② 第3回 飯坂温泉 日本一の桃まつり

日時：令和7年7月27日

概要：学生が桃まつりの運営に関わり、子どもの遊び場「モモッチャ」で桃の魅力を楽しく発信。学生の視点で来場者を大きく盛り上げ、会場のにぎわいが一層広がった。飯坂の桃の魅力在全国にしっかりと伝えることができた。



### ③ 学生スタッフ大交流会・大運動会

日時：年3回

概要：学生主体で企画された交流の場。学校や学年を越えたつながりが生まれ、気軽に相談や協力ができる関係が育まれた。その結果、チームワークや信頼感が育まれ、より活発な地域プロジェクトへと広がっている。



### ④ 【福島市こども政策課】福島っ子ベース～こども・若者の声を聴かせてください!～

日時：随時

概要：高校生や大学生などの若者が市の施策に対しての意見、社会がこうあって欲しいなどの思いや考えを気軽に述べられる機会をつくり、また、若者同士の交流や意見交換を目的に福島市こども政策課さんが『福島っ子ベース』を実施。CARNIVAL WORKS としてはファシリテーターとして協力させていただきました。



⑤ 桑折町町政施行 70 周年記念 奥州こおり宿 楽市楽座 in 山車フェス

日時：令和 7 年 9 月 28 日

概要：縁日ブースの運営をはじめ、スタッフ T シャツのデザイン、スタンプラリーのデザインを学泉が担い、桑折町の文化や魅力を丁寧に発信する機会となり、町への愛着が深まる素敵なイベントとなった。



⑥ NOK 株式会社福島事業場「NOK こども食堂 ～まんまるひろば～」

日時：令和 7 年 10 月 20 日スタート

概要：学生はボランティアスタッフとして企業社員食堂内での子ども食堂立ち上げから運営に関わり、子どもたちにとって安心できる居場所づくりを支えた。食事を囲みながら自然な交流が生まれ、地域で子どもを見守るあたたかな雰囲気を生み出すことに寄与できた。



⑦ 東北学院大学政策デザイン学科熊沢ゼミ芋煮食堂

日時：令和7年11月22日

概要：東北学院大学と連携し、桑折町で子ども食堂と体験活動を企画。半年間、ゼミでの授業や研修を通して子どもを取り巻く社会課題を学び、11月に地域の子どもの笑顔を支えるべくプロジェクトに挑戦。



⑧ 桑折駅前イルミネーション大作戦

日時：令和7年12月20日点灯式

概要：イルミネーション設営やレイアウトを担い、駅前にあたたかな光を灯した。クリスマス時期の駅前に人が集まり、まちの雰囲気やわらかく変化した。訪れた人の心を和ませるとともに、地域への愛着を感じるきっかけとなった。



⑨ 東洋大学福祉社会デザイン学部小野ゼミ 宿泊学習

日時：令和7年12月13日～14日

概要：東洋大学小野ゼミのみなさんと連携し、福島の子ども達の現状を学びながら、1泊2日のレスパイトを企画。企画内容はもちろんリスク管理、情報管理、予算管理まですべてを学生だけで担うプロジェクト。半年以上かけて考えた企画を12月会津少年自然の家で実行。学生にとっては実践的な学びとなり、子ども達にとっては身近なロールモデルがいる空間で、将来の夢を膨らます学生との貴重な交流の場となった。



【連携企業】

- 東北学院大学政策デザイン学科熊沢ゼミ
- 東洋大学福祉社会デザイン学部小野ゼミ
- 桑折町総合政策課 ■ グランケット桑折
- 一味庵 ■ 福島市こども政策課



## (1 1) NODA COFFEE (高校生カフェ)

・・・新規プロジェクト

### 【目的】

ドトールコーヒーショップ ヨークタウン福島野田店が変貌を遂げ、様々なテーマで人が集うカフェに大変身。毎回企画を変えながら、人と人との繋がりを生み出すあたたかい夜のカフェです！

### 【事業実績】

開催内容：NODA COFFEE 高校生カフェ

日時：3月21日（土）18：00～21：00

場所：ドトールコーヒーショップ ヨークタウン福島野田店

※お客さんは高校生限定

来店者数：30名

「大学生に勉強を教えて欲しい！」

「友達とおしゃべりしたい！！」

「イベント運営をやってみたい！！！」

そんな高校生とサポートしてくれる大学生総勢30名の方がNODA COFFEEに。高校生が放課後に行く場所が限られていることや、ち



よっぴり先輩の大学生との交流の場が少ないこと、高校生のうちにいろんなチャレンジをしてみたいけど一人ではできないこと等、高校生の等身大の悩みを語ってくれたことも非常に大きな意義がありました。



【連携企業】

- ドトールコーヒーショップ ヨークタウン福島野田店
- 株式会社こんの



## (12) ばあばとじいじのごはん処

・・・新規プロジェクト

### 【目的】

「注文をまちがえる料理店」とは、認知症の人が注文を取り、時に間違えて料理を運ぶことも受け止めるレストランとして2017年に始まった。コンセプトは、「まちがえちゃったけど、ま、いっか」。認知症に対する社会の理解や受容、寛容を広げる試みとして大きな注目を集め、国内外で多数のスピンオフ企画も生まれてきた。CARNIVAL WORKSは大戸屋さんと連携し、ばあばとじいじのごはん処実行委員会を立ち上げ本プロジェクトを実施。

### 【事業実績】

日時：令和7年9月21日（世界アルツハイマーデー）

来店者数：70名

学生サポートスタッフ：12名

社会人サポートスタッフ：23名

認知症の方が生き生きと働く姿に元気をもらい、みんなが寄り添う姿にあたたかさを感じ、お客さまが「おいしいね」と笑顔で言葉を交わす。その一つひとつの瞬間が重なって、幸せに満ちた空間が生まれていま



した。みんなで作り上げた「ばあばとじいじのごはん処」は、食事の場だけではなく、人と人が心でつながる優しいひと時をつくってくれる特別な場所でした。もしまちがえてしまっても、忘れてしまっても、「ま、いっか」と笑い合える。そんな社会になったら、きっとみんなが生きやすく、あたたかい気持ちで過ごせるはずです。ご参加くださった皆さま、ご協力くださった皆さま、そして笑顔を届けてくれたばあばとじいじ、本当にありがとうございました！！！！



#### 【連携企業】

- 株式会社こんの ■ 福島県立医科大学作業療法学科
- 大戸屋北矢野目店 ■ ツクイ福島笹谷・黒岩・福島鎌田



## (13) DRY FLOWER PROJECT

### 【目的】

廃棄寸前の花をアップサイクルし、ドライフラワーにて販売するという過程で、様々な困難を抱えた人たちの社会参画の機会を創出。また販売プロデュースを高校生・大学生が行うことで次世代の人材育成となり、収益は子ども食堂などに寄付することで、寄付文化を根付かせ、地域全体で子ども・若者を支える循環型の地域を生みだす。

### 【連携企業】

- あとりえ悠然（ロスフラワー提供）
- 花小屋 aim（ロスフラワー提供・製作指導）
- yuki flower（ロスフラワー提供）
- FOUR'S MARKET（制作場所提供）



## (14) LAMPE DU CHOCOLAT

【目的】子ども支援チャリティに主眼を置いたチョコレート開発プロジェクト。障がい・引きこもり・フードロス・環境そして、子どもの未来……。製作過程には作業所のメンバーさんや引きこもりを経験したスタッフ。商品には廃棄予定の農作物やサステナビリティな食材を使用。デザインや販売は高校生・大学生たちが関わっていきます。そして、このチョコレートの売り上げの一部は、子どもたちのためにチャリティ。地域全体で社会問題への理解と関心を深める活動を展開。様々な背景を持った方々がチョコレートの製作に携わることで、支援する側される側の枠組みではなく、共に地域を支えるひとりとして、「人と人が」「人と社会が」たくさんつながる契機を生み出すプロジェクト

### 【連携企業】

- まちなか夢工房 ■ 中野屋菓子舗 ■ いろどりファーム
- ささき牧場カフェ ■ cafe tetote ■ バズクリエイターズ





～CARNIVAL WORKS ボランティアインタビューショート動画～

